プロジェクト名

鳥取でジビエる!
～シカ肉について本気出して考えてみた～

皆さんは「シカ肉」って食べたことがありますか？鳥取県内（または鳥取の近隣地域）の方にとっては、「シカ肉＝近所づきあいの一環として頂けるもの」、というイメージの方が多いかもしれません。一方、私は出身が広島県の呉市なので、シカ肉に縁がなく、環境大で働き始めてから初めてスーパーマーケットで購入しました。食べてみると、とても美味しい！！なのに、学生さんに尋ねても、「美味しいですよね」なんていういい返事は返ってこない。さらに、鳥取県では「とっとりのジビエ」と題してシカ肉を推していて、でも、シカの被害で山村はえらいことになっていて実は駆除が必要で…、などと、シカを取り巻く問題は、環境面、流通面、消費者サイドなど多岐にわたっているようです。

大切なのはただ一点。「鳥取のシカは超美味しい！」ということです。その美味しさを伝えることが出来れば、鳥取県自身の魅力をアップさせることもできるのではないか！？これがプロジェクト研究の目的です。

▲ メンチカツの揚げ時間を計測している様子

プロジェクト研究では、A：シカ肉問題を整理する、B：料理を考える、C：料理のプロモーションを考える、とグループ分けをしてスタートしました。さて何が大変かというと…いや、どれも大変なのですが、混迷を極めていたのはB班です。紆余曲折あってシカ肉でメンチカツを作ることになり、これまでに7回の試作、大学の事務の方などにお願いして試食も数回して頂きました。その都度出てくる感想（という名のダメ出し）に応えるため、材料を変え、分量を変え、揚げ時間を変え…その涙ぐましい努力は、教員側にまで十分伝わってきていました。そして、学生さんの料理スキルがめきめきと上達したことも伝わりました。

▲ 揚げたてのメンチカツを試食している様子

このプロジェクトは、今年だけで終わらせることはできません。来年、再来年と引き続き行っていき、「鳥取のシカ肉は、公立鳥取環境大学がブランド化したんだって」と言われる日が来るよう、頑張りたいと思います。

プロジェクトアドバイザー　経営学部 竹内 由佳 講師（記）

プロジェクトメンバー

プロ研2：〈環境学部〉園田 茉央、筒井 太一、福村 征竜、保坂 芽依、丸田 浩喜 三輪 拓也
〈経営学部〉秋田 実夢、岡野 里香、芳山 陽人

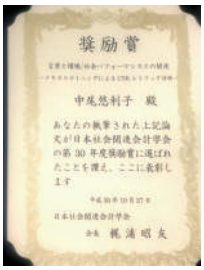
プロ研4：〈環境学部〉阿部 寛己、熊巳 一輝、小林 美樹、武村 隆利
〈経営学部〉植田 萌意、宇都 香奈子、川口 由華、黒木 初乃、佐藤 有輝 田邊 直大

経営学部 中尾 悠利子准教授が日本社会関連会計学会2018年度学会奨励賞を受賞

本学の経営学部経営学科中尾悠利子准教授が、日本社会関連会計学会2018年度学会奨励賞を受賞しました。平成30年10月27日（土）・10月28日（日）に関西学院大学の西宮上ケ原キャンパスで行われた、日本社会関連会計学会第31回全国大会にて、賞状の授与式が行われました。

社会関連会計学会とは、企業行動の環境面や社会面のプラスの影響およびマイナスの影響を、会計学の視座から探求する学会です。

この度受賞した、「言葉と環境/社会パフォーマンスとの関連 ―テキストマイニングによるCSRレトリック分析―」（『社会関連会計研究』第30号掲載論文）は、コンピュータベースのテキストマインニングを採用し、環境経営やCSRに取り組む企業パフォーマンスの良し悪しによって、サステナビリティ報告の定性情報の中でも最も重要なトップステートメントの言葉の使用に違いがあるのかを明らかにしました。



「中国地方学生フォーラム2018」に本学学生4名が参加しました

「中国地方学生フォーラム」（主催：中国・地域づくりハウス）が開催され、本学から4名の学生が参加しました。このフォーラ